

サトイモ疫病の薬剤防除について

2020年3月

2020年1月にダイナモ顆粒水和剤、3月にペンコゼブ水和剤がサトイモ疫病対策のため、適用拡大登録されました（下表参照）。以下の防除体系を参考にして適期の薬剤防除を徹底しましょう。

○サトイモ疫病登録薬剤一覧

薬剤名	希釈倍率	10a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	備考
ジーファイン水和剤	1,000倍	150~500ℓ	収穫前日まで	— (制限なし)	既登録
アミスター20フロアブル	2,000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	3回以内	既登録
ダイナモ顆粒水和剤	2,000倍	100~300ℓ	収穫21日前まで	3回以内	2020.01.15登録
ペンコゼブ水和剤	500倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	2回以内	2020.03.11登録

使用にあたっての注意事項

- ・展着剤を加用する。
- ・他の登録薬剤とローテーション散布を行うなど、過度な連用は避けること（耐性菌の発生予防）。
- ・他剤との混用または気象条件によっては薬害を生じる恐れがあるため注意すること（特に高温多湿時）。

○サトイモ疫病の防除体系

【防除薬剤】	6月	7月	8月	9月									
	（梅雨入り前）	初発警戒期		蔓延警戒期 （発生増加注意）		（収穫期）							
↓ ジーファイン水和剤	（梅雨入り前のダニ剤混用散布）												
↓ ペンコゼブ水和剤	（梅雨入り前の殺菌剤単用散布）												
↓ ダイナモ顆粒水和剤													
↓ アミスター20フロアブル													
	【使用時期別の防除薬剤と注意点】												
	○梅雨入り前または梅雨明け後												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>散布方法</th> <th>梅雨入り前</th> <th>梅雨明け後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ダニ剤混用散布</td> <td>ペンコゼブ</td> <td>ジーファイン</td> </tr> <tr> <td>②単用散布</td> <td>ジーファイン</td> <td>ペンコゼブ</td> </tr> </tbody> </table>				散布方法	梅雨入り前	梅雨明け後	①ダニ剤混用散布	ペンコゼブ	ジーファイン	②単用散布	ジーファイン	ペンコゼブ
散布方法	梅雨入り前	梅雨明け後											
①ダニ剤混用散布	ペンコゼブ	ジーファイン											
②単用散布	ジーファイン	ペンコゼブ											
	○初発後 発病葉等を除去し、ダイナモ、次いでアミスターを散布												
	○降雨が続くことによる多発前 応急的にダイナモを連続散布（但し、可能な限り「蔓延警戒期」まで温存すること）												
	○発生増加前 ペンコゼブを散布												
	○台風通過後 ダイナモ、次いでアミスターを散布												
	○収穫前 軟腐病の予防対策も兼ねて ジーファインを散布												